

質問に対する回答書

(件名) 関越自動車道 三室沢橋床版取替工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	設計図⑥-2及び⑥-3	設計図_上り線床版取替工・支承取替工(117・118・119/128)および、設計図_下り線床版取替工・支承取替工(115・116・117/128)のジャッキアップ補剛材には溶接表記がありません。山形鋼と鋼板の部材がボルト結合のみで固定される構造と考えて良いでしょうか。	そのとおりです。
2	設計図⑥-2	設計図_上り線床版取替工・支承取替工(116/128)_三室沢橋(上り線)_段差防止構造詳細図のC-C断面図において、フランジ板、ウェブ板の接合部の『R35』の表記は『隅肉溶接の脚長35mm』と考えて良いでしょうか。	フランジ板、ウェブ板の接合部の『R35』については、スカラップが35mmであることを示す表記となります。
3	設計図⑥-2及び⑥-3	設計図_上り線床版取替工・支承取替工(114/128)および、設計図_下り線床版取替工・支承取替工(112/128)の下部プラケットの3-3断面図にある縦鋼板と横鋼板の接合部の円弧表記に『R○○』(※○は数値)がありません。この部位の溶接規格および脚長をご教授ください。	円弧標記については、スカラップを示すものとなります、数値は、設計図_上り線床版取替工・支承取替工(114/128)および設計図_下り線床版取替工・支承取替工(112/128)の注記に記載の『35R』となります。
4	特記仕様書P.42_25-18-7(2)	「仮受け部補剛材は支承取替後も存置するものとする」とありますが、支承部の主桁補強も含まれると考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
5	設計成果品等貸与資料	設計成果品貸与資料_REPORT12(数量計算書_第4章)において、外面塗装面積の数量は8-302と8-337および、8-410と8-445どちらを正とするべきでしょうか。	外面塗装面積の数量は8-337、8-445を正としてください。
6	設計図⑥-2及び⑥-3	設計図_上り線床版取替工・支承取替工(117・118・119/128)および、設計図_下り線床版取替工・支承取替工(115・116・117/128)のソールプレート詳細図にて、4-M24(既設セットボルト用)は現場孔明に該当するのではないでしょうか。各支承詳細図には4-M24(既設セットボルト用)表記がありません。	設計図_上り線床版取替工・支承取替工(117・118・119/128)および、設計図_下り線床版取替工・支承取替工(115・116・117/128)のソールプレート詳細図の4-M24(既設セットボルト用)について、支承製作時に合わせて加工を想定しており、現場孔明は不要と考えております。